

平成29年度客員教員候補者一覧
 (火山噴火予知研究センター、地震・火山噴火予知協議会推薦枠)

整理 番号	氏 名	現 職	研 究 課 題	担当教員
1	おざわ たく 小澤 拓	防災科学技術研究所 主任研究員	衛星SAR・地上設置型レーダー 干渉計による火口周辺の地表変 動に関する研究	大湊 隆雄 准教授
2	みやぶち やすお 宮縁 育夫	熊本大学 教育学部 准教授	阿蘇火山における噴火活動, 斜 面崩壊とそれに伴う災害に関す る研究	前野 深 助教
3	やすい まや 安井 真也	日本大学 文理学部 准教授	安山岩質火山の噴火の推移と 噴火様式	市原 美恵 准教授
4	わたなべ としき 渡辺 俊樹	名古屋大学 大学院環境学研究科 教授	自然地震記録に対する波動場 解析の適用による地下構造イ メージング	加藤 尚之 教授

* 整理番号は五十音順

火山噴火予知研究センター／地震・火山噴火予知研究協議会推薦客員教員（4名）

氏名 小澤 拓
所属 防災科学技術研究所
職名 主任研究員
研究課題 衛星 SAR・地上設置型レーダー干渉計による火口周辺の地表変動に関する研究
推薦理由 小澤氏は火山の火口周辺に着目した衛星 SAR 解析により火山活動に関する様々な地表変動の検出とそのモデル化を進めてきており、この分野における日本のトップランナーの一人である。小澤氏は平成 28 年度より客員准教授として衛星 SAR 解析による火口周辺変動を面的に捉える研究を進めるとともに、浅間山におけるレーダー干渉計設置に尽力し、レーダー干渉解析と他の地球物理観測との比較による浅間山の火山活動解明を進めている。いずれの研究も、火山噴火予知研究の進展に大きく寄与するものであり、2 年間の継続的研究により更なる成果が期待できることから、今年度も継続して小澤氏を客員教員として推薦する。

氏名 安井 真也
所属 日本大学文理学部地球システム科学科
職名 准教授
研究課題 安山岩質火山の噴火の推移と噴火様式
推薦理由 安井氏は、浅間山の天明噴火や桜島の大正噴火のような大規模噴火の推移と噴火様式について、火山地質学的手法による研究を長年にわたって進めてきた。安井氏は平成 28 年度より客員准教授に着任し、大規模な噴火をおこし得る安山岩質マグマを噴出する火山の最近の噴火事例を対象とし、地球物理的および地質学的データ等の総合的検討と国内外の噴火事例との比較によって、噴火推移と噴火様式の実体を明らかにしつつある。安山岩質火山の噴火推移と噴火様式の理解は、社会的要請の大きい噴火シナリオ作成に大きく寄与することが期待できることから、平成 29 年度も継続して、本分野の最適任者である安井氏を客員教員として推薦する。

氏名 宮縁 育夫
所属 熊本大学教育学部
職名 准教授
研究課題 阿蘇火山における噴火活動、斜面崩壊とそれに伴う災害に関する研究
推薦理由 宮縁氏は、これまで阿蘇火山の噴火履歴や噴火現象、豪雨や地震活動に伴う斜面崩壊など地質学的研究を幅広く進めてきた。近年の阿蘇火山における爆発的噴火の噴出物や堆積物、過去の噴火活動に関する研究からは、玄武岩質マグマ噴火や

マグマ水蒸気噴火に関する様々な知見が得られており、他の火山における噴火現象を理解する上でも重要である。また、2013年に伊豆大島で発生した斜面崩壊の際には、阿蘇での知見をもとに崩壊メカニズムや災害特性について、地震研究所の研究者と共同で明らかにした。今後これらの研究を、阿蘇や他の火山を対象にさらに発展させることにより、噴火・災害予測研究への貢献が期待できることから、宮縁氏を客員教員として推薦する。

氏名 渡辺俊樹

所属 名古屋大学大学院環境学研究科

職名 教授

研究課題 自然地震記録に対する波動場解析の適用による地下構造イメージング

推薦理由 「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」の効果的な推進ためには、適切な予算配分を行うための指導力を発揮できる教員が必要である。渡辺氏は、これまで計画推進部会長、企画部長、戦略室員を歴任しており、地震・火山噴火予知研究協議会の運営を熟知し、関係研究者の信頼も厚い。この経験を活かし、平成29年度の予算委員長として協議会での研究推進への貢献を期待している。また、渡辺氏は地震波による構造探査手法の開発及びその応用に長年従事し、東海地域の地殻構造解明等の研究成果をあげてきた。プレート境界域等における詳細な構造の解明は、地震発生の物理モデル構築のためにも重要である。これらの理由から、渡辺氏を客員教員として推薦する。